

ＴＰＰ参加の撤回を求める決議

野田総理は、所信表明において、「ＴＰＰ、環太平洋パートナーシップ協定への交渉参加について、しっかりと議論し、できるだけ早期に結論を出します」と明言しました。

さらに、国連総会出席のために訪米し、オバマ大統領との日米首脳会談において、「しっかりと議論し、出来るだけ早期に結論を出したい」旨を伝えました。

このため、１１月１２日、１３日にハワイで開催予定のＡＰＥＣ首脳会議において、ＴＰＰの交渉参加の意向を表明するのではないかと危惧されています。

ＴＰＰへの参入は、農業ばかりでなく、医療・社会福祉、金融・保険、法曹、政府調達、労働市場等わが国の根幹を揺るがすこととなりかねません。

わが国にとって喫緊の最重要課題である東日本大震災の本格的復興が着手されていない中であって、ＴＰＰ参加を検討することは時期尚早であります。また、ＴＰＰに関する情報をきちんと提示することなく、参加へ向けた動きは、到底容認できるものではありません。

私どもは、野田総理が一日でも早く、ＴＰＰ参加見送りを表明することを強く求めます。

平成 23 年 9 月 29 日

ＴＰＰ参加の即時撤回を求める会